

千宗守一翁ト號、且ノ季子也、讃州高松ニ仕、今連綿タリ、官休庵、千家武者小路ト云、

利休家筋且翁ノ後、右三家ニ分ル、

藤村庸軒庸軒流ノ祖

杉木普齋普齋流ノ祖

山田宗偏宗偏流ノ祖

織田有樂諱長益、信長ノ弟、源五郎、有樂軒、如ト號、有樂流ノ祖ナリ、

細川三齋諱忠興、幽齋ノ男、(中略)剃髮シテ三齋ト號、(中略)利休ト交深ク、茶道休ノナス所ニシテ私智ヲマシヘズ、

一尾伊織三齋遺言ニヨリ、以一尾流ト號ス、

古田織部正諱重勝、稱印齋、(中略)織部流ノ祖タリ、

小堀遠江守諱政一、髮落シテ宗匠ト、遠州流ノ祖也、眞勝ヲ以稱三宗匠ト、

藪内紹智藪中齋、劍仲、又燕庵、隱齋ト號、依三其祖タリ、人招仕本願寺、今藪内流ト云、

南宗寺宗慶左海集雲庵、首座、一休ノ法嗣ス、宗告トモ云、(中略)南坊流ノ祖タリ、

〔古今茶人系譜上〕織田可休織田主計頭貞置、(中略)有樂齋没後、貞置へ茶道相續ノ血脈ユルナル、仍テ世ニ貞置流ト云、

〔茶窓閒話中〕むかし利休が比までは古流の誰がれ残り居れり、中にも津田宗吸、今井宗久などは、

肩をならべて宗匠たりし故、千家の系圖に載らざる高名の茶人あまたありし、いつぞのほどに

や、古流は微々になりて、あれども無がごとくにて、千家のみさかんになりし、今の世に三齋、古

織、有樂、遠州、一尾、舟越、佐久間、多賀、金森、片桐、貞置、宗偏などの流々、各別の

やうに一流を立れども、其根本皆々千家より出ざるはなし、千家は茶道の大宗匠といふべし、

〔茶話眞向翁坤〕千家および藪内を茶の家本と唱ふ、これもおほやけならず、私の唱也といふべし、

利休居士の智万代屋宗安の末葉、肥後細川家につかへて、今に茶家を唱ふと、なん、又紹翁晩年の